

本 会 会 告

次期会長および評議員の選挙結果

先に実施した次期会長および評議員(半数改選)選挙の開票を11月1日に行った。今回は、有権者数686人、そのうち投票者数は次期会長選挙306人、次期評議員選挙307人であった。開票結果は、次の通りである。

(次期会長候補者)

千川 純一 146	冨家 和雄 59
石井武比古 79	白紙および無効 22

(次期評議員候補者)

高良 和武 118	村田 隆紀 55
宮原 恒昱 95	大隅 一政 54
佐藤 繁 87	渡部 力 52
菅 滋正 80	春日 俊夫 49
植木 龍夫 70	床次 正安 49
村田 好正 66	雨宮 慶幸 48
原田 仁平 59	山川 達也 48
石川 哲也 55	

評議員会は、この開票結果に従い、次期会長および次期評議員を下記の通り選出した。

次期会長(任期:自1990.4.1至1991.3.31)

千川 純一

次期評議員(任期:自1990.4.1至1992.3.31)

雨宮 慶幸	床次 正安
石川 哲也	原田 仁平
植木 龍夫	宮原 恒昱
大隅 一政	村田 隆紀
春日 俊夫	村田 好正
高良 和武	山川 達也
佐藤 繁	渡部 力
菅 滋正	

第1回 シンポジウム

「EXAFSでどこまで分かるか」

期日 1990年1月23日(火) 9:30~17:00

場所 東京大学総合図書館 会議室

その他開催についての詳細は、本誌前記掲載。

日本放射光学会第3回年会

期日 1990年4月26日(木), 27日(金), 28日(土)

場所 大阪科学技術センター

実行委員長 植木 龍夫(阪大・基礎工)

その他開催についての詳細は、本誌前記掲載。申込用紙・予稿集原稿用紙は、巻末に綴じ込み。

第2回 編集委員会

1989年9月2日(土)、高エ研放射光施設で開催した。第2巻第3号の評価、第4号および第4号以降の内容について検討した。

第9回 定例幹事会

1989年9月30日(土)、東大山上会館で開催した。会員異動、次期会長および評議員候補者推薦結果、第2回講習会、第3回年会、第1回シンポジウム開催要領、将来計画特別委員会について議論した。

第1回 将来計画特別委員会

1989年11月9日(木)、学士会館分館で開催した。この委員会は、佐々木会長の提案を受けて、第6回評議員会にて承認され、設置されたものである。第1回目の議題は、主に、大型放射光計画についてであり、科技庁計画、高エ研計画の現状報告とそれに関する討論が行なわれた。

第10回 定例幹事会

1989年11月11日(土), 東大物性研で開催した。会員異動, 会長・評議員選挙開票結果, 将来計画特別委員会について, 1989年度上半期決算報告, 第3回年会開催およびシンポジウム「EXAFSでどこまで分かるか」について, 日本学術会議, 特許庁の学術団体指定申請について, 内外施設との情報交換について等を討議した。

第7回 評議員会

1989年11月18日(土), 食糧会館で開催した。主な審議事項は下記の通り。

- 1) 正会員13名, 賛助会員1社, 正会員退会者1名を承認した。(本会告後記掲載)
- 2) 次期会長・評議員選挙の結果を承認した。(本会告前記掲載)
- 3) 将来計画特別委員会について報告があった。(本誌前記「設置について」の記事参照) 大型計画に関する起草委員は, 以下の6名である。
安藤 正海, 上坪 宏道, 菊田 惺志
佐々木泰三, 千川 純一, 藤井 保彦
- 4) 1989年度上半期決算報告を承認した。(本会告後記掲載)
- 5) 第3回年会, シンポジウム開催計画(本誌前記掲載)を承認した。
- 6) 国際シンポジウム「大型放射光施設計画と先端科学技術」の後援を承認した。

1989年度上半期会計中間報告

自 1989年4月1日
至 1989年9月30日 (単位 円)

1. 収入の部

科 目	金 額	細 目	金 額
1. 会員会費収入	3,842,000	正会員会費収入	3,774,000
		学生会員会費収入	68,000
2. 賛助会員会費収入	3,050,000		
3. 講読会員会費収入	221,250		
4. 学会誌広告料収入	2,128,739		
5. 学会誌販売収入	37,500		
6. 受取利息	1,468		
収入の部合計			9,280,957

2. 支出の部

科 目	金 額	細 目	金 額
1. 学会誌出版費	3,890,183	会誌印刷費	2,555,070
		会誌編集費	591,375
		発送手数料・郵送料	743,738
2. 名簿管理費	37,452		
3. 事務経費	1,280,931	事務管理費	129,691
		賃借料	12,180
		事務用品費	76,831
		消耗品費	259,323
		水道光熱費	3,045
		給料手当	14,500
		印刷費	433,085
		税理士報酬・顧問料	280,000
		振込手数料・運賃	13,302
		FAX使用料	58,974
4. 通信費	562,458		
5. 会議費	362,134		
支出の部合計			6,133,158

3. 収支計算の部

当期収支差益 3,147,799

1989年度中間資産負債明細

1989年9月30日現在

(単位 円)

1. 資産の部

科 目	金 額	細 目	金 額
1. 現金及び預金	2,253,282	手持現金残高	30,240
		郵便振替残高	1,183,360
		都民銀行普通預金残高	1,039,682
2. 会費未収入金	933,000	正会員会費未収入金	688,000
		賛助会員会費未収入金	200,000
		講読会員会費未収入金	45,000
3. 広告費未収入金	1,129,940		
4. 学会誌在庫高	583,659	第1巻第1~3号 (356冊)	308,296
		第2巻第1号 (105冊)	90,930
		第2巻第2号 (78冊)	93,021
		第2巻第3号 (84冊)	91,412
5. 電話加入権	70,000		
6. 什器備品	282,220	会長用ファクシミリ	282,220
資産の部合計			5,252,101

2. 負債の部

科 目	金 額	細 目	金 額
1. 行事特別勘定	547,055	第1回講習会特別勘定受入金	168,929
		年会特別勘定受入金	343,126
		第2回講習会特別勘定受入金	35,000
負債の部合計			547,055

3. 剰余金の部

科 目	金 額	細 目	金 額
1. 前期繰越剰余金	1,557,247		
2. 当期中間収支差益	3,147,799		
剰余金の部合計			4,705,046

中間剰余金報告計算書

前期繰越剰余金	1,557,247円
当期中間収支差益	3,147,799円
中間剰余金合計額	4,705,046円

第6回評議員会議事録

日時：1989年7月29日（土）13：30～16：00

場所：東京大学山上会館

出席者：安藤 正海，石井武比古，大柳 宏之，
菊田 惺志，北村 英男，小早川 久，
合志 陽一，佐々木泰三(会長)，
下村 理(行事幹事)，田中健一郎，
谷口 雅樹(庶務幹事)，千川 純一，
富增多喜夫，早川 和延，松井 純爾，
松下 正，菅 滋正(会計幹事)，
宮原 恒昱(編集幹事)，
西野三和子(事務局)

議事：

1. 標記会議の議長に石井評議員を選出した。
2. 第4回，第5回評議員会議事録(案)を承認した。
3. 菅会計幹事から，学会事務連絡の円滑化のため会長専用のファクシミリを購入，会長宅に設置した事について報告があり，佐々木会長と本学会との間で取り交わした「ファクシミリ使用に関する覚書」が提出された。
4. 宮原編集幹事から，第4種郵便物の申請の為に作成した「日本放射光学会投稿規定」について説明があった。二，三の指摘があり，今後編集委員会で更に検討していく事とした。また，将来計画を記事にする事に関しては，特別委員会の設置等，本学会の方針に沿いつつ検討していく事が報告された。
5. 下村行事幹事から，第2回年会の収支報告があった。

第3回年会については，大阪を開催地とする等，その要領(案)に関する説明があった。ま

た，第2回講習会「放射光ユーザーのための光源論」，第1回シンポジウム「EXAFSで物質構造がどこまで分かるか」の開催計画についても説明があった。講習会に関しては，学生の参加費，参加者定員数等について，シンポジウムに関しては，開催時期等について若干の議論があったが，行事委員会で検討していく事とした。

6. 現在作製中の「会員名簿(案)」が提出され，編集・構成について幹事会から説明があった。外国人会員の記載方法についての指摘があったが今後検討するとして，今回の発行に関しては，幹事会案を承認した。本学会のシンボルマーク(案)についてもこれを承認した。また，非会員に販売する場合の売価は，会計幹事を中心に幹事会で検討していく事とした。
7. 谷口庶務幹事から，会員勧誘用資料として，定款等の別刷を作製した事が報告された。同冊子に綴じ込みの「入会申込書」中，外国人の氏名欄をSURNAME及びGIVEN NAMEとする事とした。
8. 田中選挙担当委員から，次期会長・評議員選挙について，会員への推薦要綱の郵送等，本選挙開票までの手順の説明があった。
9. 前回評議員会以降に提出された入会申込書，退会届を回覧し，正会員20名，賛助会員1社の入会，及び正会員6名の退会を承認した。本評議員会現在，正会員は686名，賛助会員は69社となった。
10. 佐々木会長から，「将来計画特別委員会」設置について提案があった。

これに対して本評議員会は，「将来計画特別委員会」設置を承認し，その活躍時限を2年とした。また，投票の結果，同委員会委員長に菊田評議員を選出した。構成メンバーの人選については，会長と菊田委員長に一任する事とした。将来計画特別委員会は，評議員会に対してオープンであり，評議員は随時出席出来る事を確認した。

11. 次世代大型X線光源研究会（代表 菊田惺志）が、大型放射光施設将来計画に関する日本学術会議の見解を求める旨の提案を各研連委員会に対し行った事が報告された。この提案を受けた久保亮五物研連委員会委員長の近藤次郎日本学術会議会長宛の書簡（案）が、安藤同委員会委員から提出された。
12. 谷口庶務幹事から、日本結晶学会主催「回折法による物質構造研究法入門」講習会への協賛依頼状が提出され、これを承認した。
13. 次回評議員会は、11月18日(土)13:30~16:00とした。

(正会員13名)

岡田 浩一（ソルテック）
 河津 象司（東芝）
 木村 正広（阪大・理）
 結石 友宏（住友電気）
 小泉 哲夫（立大・理）
 島野 裕樹（三菱電機）
 田村 剛三郎（広大・総合科学）
 長沢 久男（理研）（理学電機）
 野村 基之（広大・理）
 林田 敏明（三洋電機）
 細川 伸也（広大・総合科学）
 松沢 孝男（茨城工専）
 NELMES Richard (Univ. of Edinburgh)

会員異動

11月18日に開催された第7回評議員会で、下記入会が承認された。

(賛助会員 1社)

(株)パスカル

(退会 1名)

市川隼男（東芝）

将来計画特別委員会からのお願い

将来計画特別委員会では我が国における放射光将来計画について、学会としての立場から議論を始めております。第1回の委員会（11月9日）では大型の計画につき討議しましたが、次回以降、1~2 GeV級（中型）の放射光施設計画をとりあげる予定です。つきましては、議論の対象にすべき計画の内容をできるだけ正確に把握する必要があります。現在、本委員会が知る限りでは、東北大、物性研、大阪科技センター、広島大、九州大の計画が提案されていますが、もしこれ以外にもありましたら、具体化しているものから構想段階のものまで含めて、ご関係の方は平成2年1月15日までに委員長宛にお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

委員長：菊田 惺志 東京大学工学部物理工学

〒113 文京区本郷7-3-1

TEL 03-812-2111 EX.6825

FAX 03-816-7805